

なかよし 1 組（知的障がい学級）国語科学習指導案

場 所 なかよし 1 組教室

1 単元名 ことばとなかよし（課題別学習）

2 課題名 A 児・・・えんぴつとなかよし
B 児・・・かん字をおぼえよう

3 単元のねらい

A 児

【関心・意欲・態度】・・・自分の活動の途中で席を立ったりせずに，最後までやり遂げることができる。

【読むこと】・・・カードを見て，物の名前を言うことができる。

【書くこと】・・・プリントの線をなぞることができる。

B 児

【関心・意欲・態度】・・・自分の課題を一人で最後まで行うことができる。

【読むこと】・・・1 年生で習う漢字を読むことができる。

【書くこと】・・・1 年生で習う漢字をノートやプリント，ドリルに書くことができる。

4 主な言語活動(内容(4)「読むこと」「書くこと」の言語活動例)

特別支援学校学習指導要領解説 総則等編より

A 児 1 段階(4) いろいろな筆記用具を使って書くことに親しむ。
2 段階(4) 文字を書くことに興味をもつ。

B 児 2 段階(3) 文字などに関心をもち，読もうとする。
3 段階(4) 簡単な語句や短い文を平仮名などで書く。

5 研究テーマに関わって

特別支援学級における課題別学習の追究 ～時間・教室空間・学習方法の構造化～

通常学級在籍の児童とは実態や特性が違いため、通常学級の研究主題とは別に、特別支援学級独自の研究主題を設定し、研究を進めてきた。なかよし 1 組（知的障がい学級）となかよし 2 組（自閉症・情緒障がい学級）では、特別支援学級の利点である「個のニーズに応じた指導・援助」の効果的な在り方を探るため、課題別学習に取り組んでいる。

課題別学習のゴールは、「児童が自力でやり抜くこと」である。児童が自力でやり遂げる中で、国語の基礎的・基本的な内容や技能を習得すると共に、成功経験を重ね、自己肯定感や自尊感情を高めて、「できる」という自信をもたせたいと考えている。

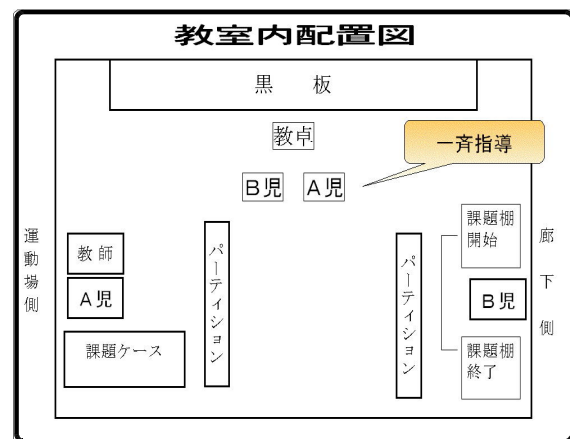
なかよし 1 組では、在籍児童の認知特性を踏まえ、「構造化」をキーワードに、次の 4 点を実践してきた。

時間の構造化 ～見通しをもたせ、はじめとおわりを知らせる日課表など～

- ・ 時間感覚をもたせ、はじめとおわりを知らせるために、次の支援をしている。毎日の生活に見通しがもてるように、視覚的支援として、日課表を掲示した。帰りの会では、B 児が個別の明日の予定を貼るようにした。

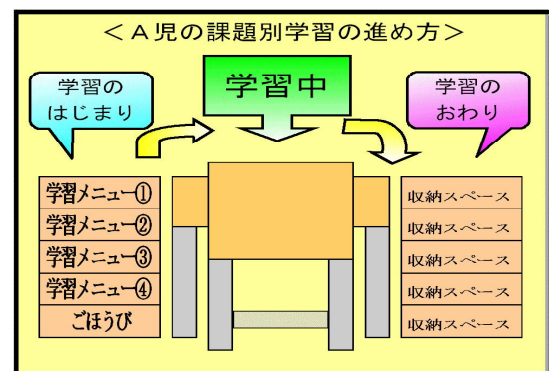
教室空間の構造化 ～教室全体の構造化～

- ・ 活動と場所を一対一対応することで、活動の意味や内容をより理解しやすくした。
- ・ 右図の教室内配置図にあるように、一斉指導は教室の前方で行い、課題別学習は教室の左右 2 カ所に分かれて、学習する。
- ・ 児童が集中して取り組めるように、パーティションで学習空間を区切った。B 児は自力で学習できるため、教師机は置かず、壁に向かって学習している。



学習方法の構造化 ～課題別学習システムの導入～

- ・ 教室全体を構造化した上で、特別支援学校の学習活動を参考にして、右図のような課題別学習システムを導入した。左側に学習メニュー～を収納した棚があり、上から順に取り組む。
- ・ 児童の集中力が続くように、学習メニューは短時間で取り組めるメニューにした。
- ・ ひとつのメニューが終わったら、収納スペースである右の棚へ移す。こうすることで、「学習のはじまり」と「学習のおわり」が体験的に分かるようにした。
- ・ 課題別学習システムでは、児童の実態に応じて、「児童が自力でやり切る活動」と、「教師の個別支援により進める活動」とをバランスよくプログラムしている。
- ・ A 児は、多動的傾向があるため、1 学期は「着席して取り組むこと」を目標にして取り組んでいた。教師による支援が長時間必要である。少しずつ、課題別学習のやり方に慣れつつあるところである。
- ・ B 児は、昨年度からの積み重ねにより、学習が習慣化し、集中して取り組める。最初から最後まで、自力でやり遂げることができるようになった。
- ・ 学習メニューについては逐次評価し、見直して、学習メニューを更新することになっている。



図やイラスト、写真を使った視覚的支援

- ・ 「視覚からの情報が得やすい」という特性を踏まえ、視覚的支援をする。図やイラスト、写真を使って、学習方法を示す。

6 単元指導計画

時間	A 児の 学習活動	A 児への支援	B 児の 学習活動	B 児への支援
1	- 鉛筆を持ってぐるぐる書きをする。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。	目からの視覚的な絵カード等を活用し、分かりやすい教材を使用する。	- 漢字を文字とマッチングさせて、読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- 目からの視覚的な文字やカードや絵など等を活用し、分かりやすい教材を使用する。 - 一文字ずつ読むように言う。
2	- 鉛筆でなぞってまっすぐな線を書く。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。 - 線をつなぐ。	- 教師が発声した同じ音声を声に出して読む。 - 絵カードが発音しにくかったら、リズムを感じ取らせる。	- 漢字を文字とマッチングさせて、読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。 - 言われた物の名前を読んだり書いたりする。	- 発音できにくい漢字は、教師の後について言うようにする。 - 見通しがもてるように、今日やる課題を提示し、進行状態が分かるように、できたら自分でカードを変えていく。
3	- 鉛筆でなぞって円など丸い線を書く。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。	- 同じ文字を見分けて、合わせるようにする。 - 見通しが持てるように順番を提示し、進行状態が分かるように、できたら自分でカードを変える。	- 漢字を文字とマッチングさせて、読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。 - 言われた物の名前を読んだり書いたりする。	読み・書きなど変化があるような学習課題にする。
4 本 時	- 鉛筆でなぞって線や丸などを書く。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。 - 名前を並べる。	- 児童が好み、発達段階に合った操作性の高い課題を取り入れる。 - 読み・書きなど変化があるような学習課題にする。	- 漢字を文字とマッチングさせて、読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- 一緒に答え合わせするなどして、その都度確認する。 - できたら、認め励ます。そして、本時への意欲化をはかる。 - 一つでも覚えさせたいので、10 くらいを目やすに最後までやらせる。
5	- 鉛筆でなぞって線や丸などを書く。 - 絵カードの名前を言ったり、絵カード合わせをしたりする。 - 名前を並べる。	ブレイクタイム（デザートの課題）にパズルを行う。	- 漢字を文字とマッチングさせて、読む。 - ノートやプリント、ドリルを手本を見て書く。	- ノートにも手本を見て書いて覚えるようにする。 - 言葉かけのタイミングを見計らう。 - ブレイクタイム（デザートの課題）にパズルを行う。

7 本時のねらい

A 児のねらい.....筆記用具を持って、書くことに興味をもたせる。
身近な物の名前を教師のあとに言うことができる。

B 児のねらい.....漢字とその読み方を一致させ、漢字の読みを練習し、手本を見て書くことができる。

8 本時の展開 (4 / 5)

過程	学 習 活 動 A 児	学 習 活 動 B 児
つかむ	1 学習課題を確認する。 えんぶつとなかよくなるう。 支援 1 A 児が課題を読む際には、まず教師が先行して課題を読み上げ、発音のモデルを示す。	1 学習課題を確認する。 かんじをおぼえよう。 支援 1 課題に注視させるため、教師が課題を指でたどり、課題を読み上げるよう指示する。
深める	2 課題別に学習する。 教師と学習 絵カードの絵を見て、名前を言う。 支援 2 間違えたとき・困っているときは教師が声に出して正しい発音を教え、教師の後に続いて発音するよう指示する。 絵カードと物の名前をマッチングする。 支援 3 マッチングできていない場合は、カードを指差したり少し動かしたりして、手がかりを示す。 自分の名前を積み木の字とマッチングさせる。 支援 4 A 児はまだ平仮名が十分に読めないため、平仮名を教師と一緒に読み上げて、発音のモデルを示す。 一人で学習 プリントに描かれた線を鉛筆でなぞる。 プリントに描かれた多数の○印にシールを貼る。 支援 5 ○印すべてにシールが貼れたか、後で見届ける。できていたら、「できたね。」と認め励ましの声をかける。できていないところがあれば、指で示して貼るよう促す。 ブレイクタイム(時間があったら) パズルをやる。	2 課題別に学習する。 一人で学習 漢字と読み仮名をマッチングして、漢字を読む。 ドリルの漢字を練習する。 プリントの漢字の練習をする。 ノートの漢字の練習をする。 支援 2 困っていたら、カードを指差ししたり少し動かしたりして、手がかりを示す。または助言する。 教師と学習 マッチングなどの答え合わせをする。 支援 3 できたら、「全部できたね。」「合っていたね。」など声をかけてほめる。 プリント、ドリル、ノートに採点をする。 支援 4 教師と共に答え合わせをして、正誤を示し、やり直すところは再度やるよう指示する。 ブレイクタイム(時間があったら) パズルをやる。
まとめる	3 今日の学習を振り返る。 ・特にがんばったことなどを話す。 支援 6 特にがんばったことを認め励ます。	3 今日の学習を振り返る。 ・特にがんばったことなどを話す。 支援 5 特にがんばったことを認め励ます。